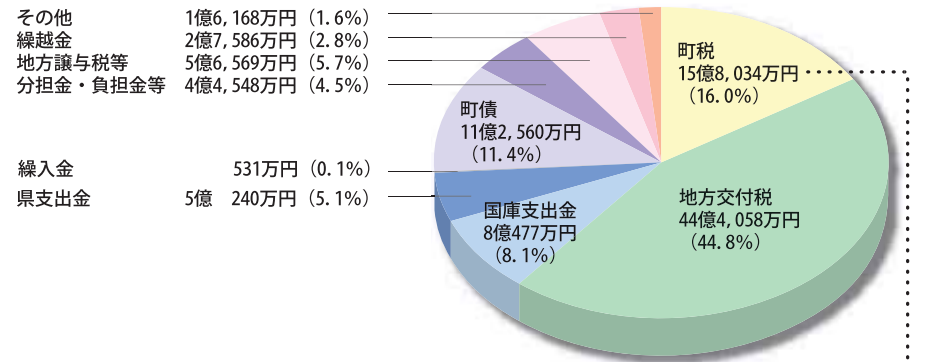


住んで良かったと思えるまちづくりを

平成17年度 中能登町 決算報告

一般会計 歳入 総額

99億771万円

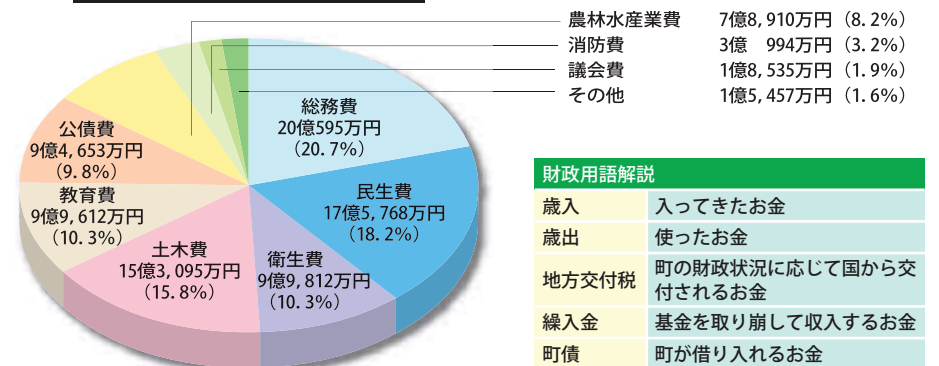


町税の収入状況

町民税	5億8,171万円
固定資産税	8億7,179万円
軽自動車税	3,224万円
町たばこ税	9,460万円

一般会計 歳出 総額

96億7,431万円



財政用語解説

歳入	入ってきたお金
歳出	使ったお金
地方交付税	町の財政状況に応じて国から交付されるお金
繰入金	基金を取り崩して収入するお金
町債	町が借り入れるお金
公債費	借りたお金の返済にあてるお金

平成17年度 決算報告

町の財政状況は、国の三位一体の改革による交付税等の減少で極めて厳しい状況にありますが、行財政改革に積極的に取り組み、健全財政の堅持に努めます。

主な事業

- 光ファイバーによる超高速情報通信基盤を整備し、行政情報提供システム・議会議中継システム・学校間交流支援システムなどを構築。
- 町民の交流融合を図るため、合併記念イベントを開催。
- 少子化対策と子育て支援のため出産祝金の支給を充実。
- 旧町の特性を活かしながら統合調整事業を実施。

特別会計

会計名	歳入	歳出
老人保健特別会計	22億3,622万円	22億3,621万円
介護保険特別会計 保険事業勘定	14億393万円	14億332万円
介護保険特別会計 介護サービス事業勘定	6万円	6万円
国民健康保険特別会計	16億4,073万円	16億3,339万円
下水道事業特別会計	13億5,856万円	13億5,856万円

水道事業会計

区分	収入	支出
収益的収支	3億8,605万円	3億7,437万円
資本的収支	2億8,898万円	4億874万円

基金と地方債

会計名	基金	地方債
一般会計	51億5,769万円	107億1,140万円
介護保険特別会計	850万円	0円
国民健康保険特別会計	1億159万円	0円
下水道事業特別会計	0円	168億9,699万円
水道事業会計	2億1,360万円	15億4,300万円

町民憲章の制定へ

専門部会を設置

私たちの住む中能登町は「ふるさと」ふれあい、心を育む「中能登町」を基本理念に合併し、まもなく2年がとうとしていきます。

この間、住民福祉の向上と町民の融和を図るため各種施策を実施するとともに、地域の特性を生かした町づくりを推進してきました。

しかし、町民の一体感の醸成と郷土を愛する心を育むためには、町政施策の充実ばかりでなく、誰にでもわかり易い「こころの道標」ともい

べき、秩序ある共通の生活信条が必要となります。

また、社会、経済的条件下に影響されることのない、町民相互の結束と協調のあかしともいふべき「町民憲章」の制定が必要となっております。

そのため、中能登町シンボル選定委員会（委員長鏡屋博氏）の中に、町民憲章について専門に協議する専門部会を設置、12月25日に第1回の部会が開催されました。



◎は部会長、○は副部会長